

## 確定交渉の中で、母性保護、両立支援の前進を

### <国家公務員の給与臨時特例法案をめぐるたたかい>

政府は10月28日、国家公務員給与を平均で7.8%引き下げる給与臨時特例法案（賃下げ法案）が国会提出されていることを理由に、その早期成立をめざすとして、11年勧告にもとづく給与法案を提出しないことを閣議決定しました。勧告実施の見送りは、1982年の「人勧凍結」以来のことであり、公務労働者の労働基本権制約の「代償措置」である勧告制度をふみにじる、憲法と国家公務員法に違反する暴挙です。全教は、首都圏での毎週宣伝に力を入れ、TPP参加、社会保障・税の「一体改革」による消費税増税など、「構造改革」を推進し、国民にさらなる負担をせまろうとする国民犠牲の突破口として、公務員賃金削減がねらわれていること、震災復興財源というなら行き過ぎた法人税減税ではなく、大企業の内部留保の活用と軍事費の削減をと、世論に訴えてきました。

また、11月29日には、衆議院本会議での賃下げ法案の趣旨説明が行われようとする情勢の中、毎週火・木の委員会審議日に首都圏と全国ブロックからの参加者による座り込み行動を展開しています。すでに財務省が義務教育費国庫負担金削減の検討をはじめたとの報道にもあるように、国家公務員の賃下げは、地方公務員、教職員などにも波及し、民間をふくめたすべての労働者の賃金に影響を与え、消費と地域経済を冷え込ませることは明らかです。義務教育費国庫負担金と地方交付税の削減を許さないたたかいが重要です。

### <各地の確定交渉の中で>

#### 1カ月以下の育児休業取得者の期末手当100%支給

人事院勧告と同時に発表された「国家公務員制度改革に関する報告」の中で、男性の育休取得を促進する立場から、短期の育休取得者の期末手当を減じない措置をとるとしたこと、各県の人事委員会勧告でも「1カ月以下の育児休業の期末手当を100%支給する」との勧告が出されています。すでに、各地の確定闘争の中では、12月の期末手当から措置するとの回答も引き出されています。全教は、当面1カ月以下の取得者への期末手当の100%支給を早急を実現するとともに、確実な代替配置の必要な学校現場の状況を踏まえ、取得促進のためには、3カ月まで100%支給するように求めていきます。

#### 子どもの看護休暇改善

今年度とりくまれた「妊娠・出産・育児に関する調査」（全労連女性部が実施）にも、子どもの看護休暇に関する要求がたくさん寄せられました。各地で、日数増、対象になる子どもの年齢の引き上げ、取得要件の緩和などをもとめて交渉がすすまっています。和歌山では、子どもが障害を持っている場合の対象年齢の撤廃に向け、関係機関と協議していくことを確認しています。

#### 不妊治療のための休暇

この間要求が強まっている不妊治療のための休暇制度については、今年度から茨城で年5日の特別休暇が新設されました。岡山では、女性部が要求を続けていましたが、この確定闘争の中で、「不妊・不育治療休暇」が2012年1月1日から新設されることになりました。暦年5日で、細かな要件はまだ決まっていないようです。

#### 妊娠中の教員に対する体育代替

山口では、今年度妊娠者に対する体育代替の完全配置を求めて、全県の職場で署名にとりくんできました。11月11日に行われた交渉には、署名3084筆を提出して、当局に実現を強く求めました。これを受け、11月18日の交渉の中で、2012年度から小学校の妊娠中の教員に対する体育実技の代替措置の基準を14学級以下の小学校に拡大するとの回答がありました。

職場の要求を積み上げた粘り強い交渉によって、厳しい状況の中でも、各地で権利が前進しています。さらに、とりくみを継続していきましょう。確定闘争の中での情報をぜひ女性部にもお寄せ下さい。

## 集まって語り合って女性の交流会 in 岡山

11月19日～20日に、岡山県で全国教職員学習交流集會が開催されました。毎回、1日目の夜には、女性の交流会を行っています。今年の女性の交流会は午後8時からの予定でしたが、みなさんがお揃いでしたので、なんと10分前から始めました。岡山のみなさんがきちんとテーブルをセットしてくださっていたからでした。岡山名物のきび団子をはじめ、大手まんじゅうなどたくさんのお菓子とおいしい果物、そして、おいしい地酒と特産ワインで歓迎していただきました。やさしい気配りに感激しながら会が

始まりました。

北は北海道から山口まで女性 20 人が集まりました。自己紹介をしながら、それぞれの思いを語っていただいたら、あっという間に 9 時を回ってしまいました。第二部として被災地の女性教職員の生の声を聞きました。全体会で特別報告をしてくださった岩手県の伊勢先生と福島県の佐藤先生、宮城県の藤田先生です。被災地で働く教師の大変さを語っていただきました。緊急時の困難



さに息をのみながら、現地の実情と願いを聞くだけで圧倒されました。女性の視点でのお話もあり、初めて出会ったとは思えない密度の濃い時間になりました。困難な中でも、子どもたちのために、そして仲間のために行政に働きかけて切り開いていく勇気。現場の困難に向き合わない行政に怒りをもちつつ、組合が前に向かって進んでいます。全教の組合員であることを誇りに思うひと時でした。また、実情に合った支援の在り方が大切なこともわかりました。時間はあっという間に過ぎ、終わりの予定は 9 時半でしたが 50 分ごろまで話し込みました。替え歌を用意してありましたが、これは出番がありませんでした。泣いたり笑ったりの交流会でしたが、最後はやっぱり記念撮影。そして、解散してから伊勢先生が持ってきた岩手応援グッズをみんなで買いこみました。やっぱり、集まるっていいですね。集まれば元気！語り合えば勇気！でした。（井上美恵子）

（笑顔がすてき！最後はやっぱり記念撮影！）

## ポテッカード募集！

母性保護、両立支援、ジェンダー平等をもとめ、仲間づくりをすすめる全教女性部ポテッカードづくりに向けて、標語を募集しています。現在までに寄せられたものをいくつか紹介します。

○ちょっとした 痛み・異常もすぐ検診  
○ゆったりと 子育てできる 楽しい職場  
○折れそうな 心をささえる 仲間たち  
○手をつなぎ あなたも笑顔で 組合に  
○大丈夫 その一言で ほっこりタイム

まだ応募は、間に合います。ぜひ全教女性部にお寄せ下さい。

### ○募集内容

教職員の働き方、仲間づくり、母性保護、両立支援、ジェンダー平等、女性の地位向上などにかかわる標語、カット

\*若い人へメッセージ性のあるもの、職場を元気づけるもの、ほっとできるものなど

例えば 「倒れる前にリフレッシュ」「お互いに笑顔で生休おつかれ様」など

（高知県教組作成のポテッカードより）

### ○応募方法

応募する標語、組織名（できれば分会名まで）、名前、連絡先等を書いて、全教女性部にメール、FAX、郵送で応募

メール [zenkyo@zenkyo.org](mailto:zenkyo@zenkyo.org) (全教女性部宛てであることを明記してください)

FAX 03-5211-0124

郵送 〒102-0084 千代田区二番町12-1 全国教育文化会館3F

\*標語だけでなく、カットも歓迎します。

**1月の女性部委員会は 1月9日(月・祝)11時~16時 全国教育文化会館です。終了後30分駅頭宣伝をします。是非ご参加を！資料やニュース、物品など持ち寄りましょう。**